

山形県地域協調型洋上風力発電研究・検討会議

遊佐沿岸域検討部会 住民勉強会結果報告

○住民勉強会概要

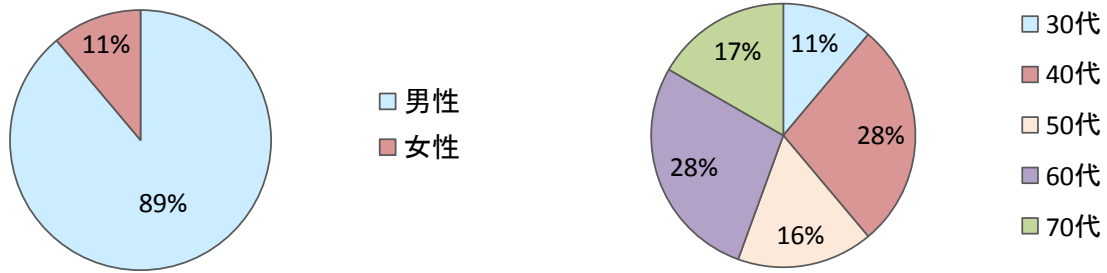
区分	内容
日時	平成 30 年 11 月 25 日 (日)
場所	遊佐町生涯学習センター 町民ホール
内容	<p>プロローグ</p> <p>①「洋上風力発電導入に向けた山形県の取組み」 山形県 エネルギー政策推進課長 中川 崇</p> <p>②「洋上風力発電について」 一般社団法人日本風力発電協会 国際・広報部長 上田 悦紀 氏</p> <p>講演 「地域と漁業が栄える洋上風力をめざして」 一般社団法人海洋エネルギー漁業共生センター 理事 渋谷 正信 氏</p> <p>パネルディスカッション 一般社団法人海洋エネルギー漁業共生センター 理事 渋谷 正信 氏 一般社団法人日本風力発電協会 国際・広報部長 上田 悦紀 氏 山形県漁業協同組合 理事 伊原 光臣 氏 遊佐地域づくり協議会 会長 佐藤 憲三 氏 西遊佐地区まちづくりの会 会長 伊藤 新一 氏 山形県環境エネルギー部エネルギー政策推進課 課長 中川 崇</p>
参加者	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>プロローグ①の様子</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>プロローグ②の様子</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>講演の様子</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>パネルディスカッションの様子</p> </div> </div>

○パネルディスカッションの結果

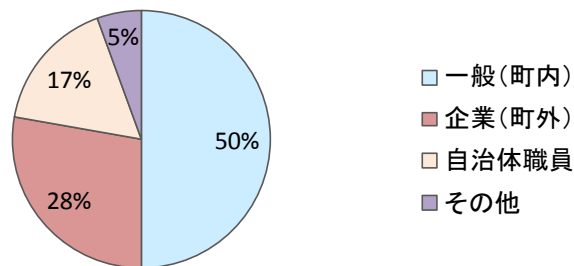
パネルディスカッションにおける主な提言
<p>●現状認識（課題・懸念事項）</p> <p><u>漁業への影響</u> ・洋上風力に魚礁効果を期待するが、刺し網、つぼ、かご漁への影響に懸念がある。（伊原委員）</p> <p><u>漁業と風車の両立</u> ・風車設置後の風況などのシミュレーションを実施するのが良い。また、風車の周りに魚が集まってくるようにデザインすること。（渋谷氏）</p> <p><u>地域への影響</u> ・低周波などの人体への影響、潮流の変化。（佐藤委員） ・景観、特に夕陽を見られなくなること、コテージやキャンプ場へのデメリットもある。 ・風力発電設置による浸食防止の効果が出るような設置方法の検討。 ・強風による、はねの落下事故の恐れがある。（伊藤委員） →2006年以降は、日本の気候に合わせた厳しい規格が定められたため、故障は少ない。故障自体も台風などの際に発生するため、人に危険が及ぶのは極めて珍しい。（上田氏）</p> <p><u>事業者の参入</u> ・地元への向き合い方を見定め、長期間、協力ができそうな企業を選ぶ必要がある。（上田氏）</p> <p><u>県の進め方</u> ・洋上風力設置に当たり、地域の理解が重要、議論の場を設ける必要がある。（中川）</p>
<p>●目指すべき将来の方向性・あり方</p> <p><u>漁業者との協働</u> ・洋上風力が設置された場合、ハタハタが取れるようになるが、ハタハタ漁の漁業者が少ないため、刺し網をどう転換していくかを考える必要がある。岐阜県の事例や酒田北港の事例を参考にしたい。（伊原委員）</p> <p><u>地域との向き合い</u> ・町民の合意を得て進めていきたい。今後も町民に向けて説明を行っていくが、事業に向けて前向きな行動をとる必要がある。（佐藤委員）</p> <p><u>事業者の参入</u> ・理想は事業者が漁業振興、地域貢献に取り組むこと。（伊藤委員）</p> <p><u>事業者の地域との向き合い</u> ・住民合意がなければ事業はできない。事業者から見ると、受け入れてくれる場所に投資を行うため、地域のまとめ役がいることが重要。地域の人は、他の地域がどうしているかを実際に自分の目で見るのが大切。（上田氏）</p> <p><u>遊佐に向けたエール</u> ・地域の合意形成と技術的な知識の吸収の2本柱で進めてほしい。他の地域の事例を多く見て、進めてもらいたい。（渋谷氏）</p> <p><u>県の取組の進め方</u> ・地域の方にもご理解いただけるように引き続き取組を続けていきたい。（中川）</p>
<p>●会場からの質問</p> <p>・酒田北港に土砂集積場があり、空地となっているため、風車設置の基地に使用できないか。 →中長期構想を現在検討しており、洋上風力の拠点港やメンテナンス港など、何らかの基地にできないか検討中である。（中川）</p> <p>・日本において、同様の町の規模で、活気のある町の事例はあるか。 →洋上風力発電の産業誘致で最も進んでいるのは北九州市であるが、北九州市は政令指定都市で規模が大きい。次に秋田県、福島県なども進んでいるところである。（上田氏）</p>

【参考】参加者へのアンケート調査結果

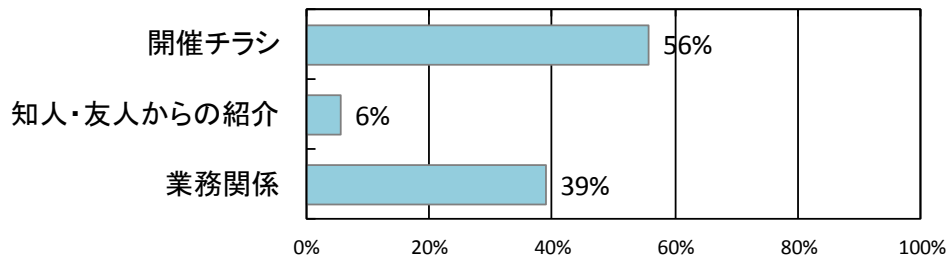
1. 性別、年代



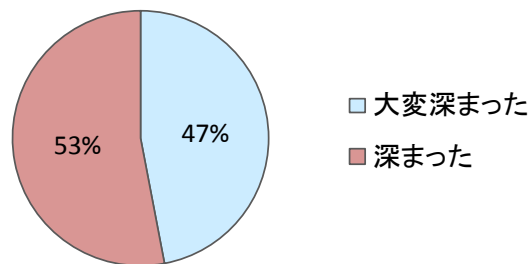
2. ご来場者の所属について



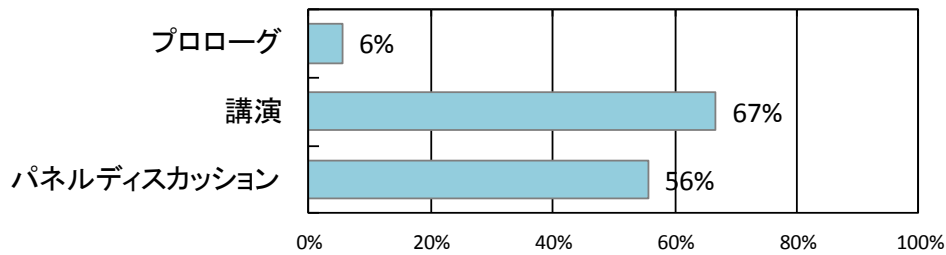
3. 本講演会の開催を何で知りましたか（複数回答可）



4. 本講演会で『洋上風力発電』に関する理解は深まりましたか



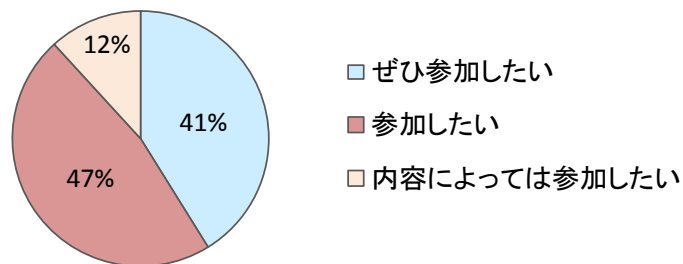
5. 本講演会で最も印象に残ったものは何ですか



印象に残った理由まとめ

プログラム 2. 講演
<ul style="list-style-type: none"> ・ 取組に関するやる気・自信が伝わってきて、元気が出た。 ・ 漁業との共生について可能性が理解できた。 ・ 日本海の現状がわかった。今後はもっと関心を持っていくことが必要。
プログラム 3. パネルディスカッション
<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業者、地元住民の本音が聞けた。 ・ 関係者の話を直接に聞いて、理解が深まったと感じた。 ・ 地元の方の洋上風力に対する熱意を感じた。

6. 今後も洋上風力に関する講演会やセミナー、イベントがあったら参加したいですか



希望する内容のまとめ

回答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 庄内の海と山をつなげる活動に関するもの ・ 飛鳥がどこからでも見える景観はどうなのか ・ 海外の洋上風力事情の実態について ・ 洋上風力の活用

7. 今回の講演会に関するご意見・ご要望等ございましたら、ご記入ください

意見・要望のまとめ

回答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講演会大変良かった。パネルディスカッションでは疑問がわかった。 ・ 海から見た鳥海山は素晴らしいが、もし風力ができた場合のイメージが心配。 ・ 活用・共生していけるよう、進めていただきたい。 ・ 遊佐町民にもっと参加していただきたい。